

令和4年度 家庭ごみ処理手数料 相当額の使い道



人にも地球にも
やさしいおまをためばして!

家庭ごみ有料化の目的

さらなるごみ減量とリサイクルを促進し、将来の施設整備の財源や環境施策の充実を図ること

市では、ごみ減量のため、市民のみなさんに家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。全額を家庭ごみの処理に必要な経費に充てています。この手数料と同額の手数料相当額は、条例で使い道が定められていてごみ減量やさまざまな環境対策に活用することになっています。

令和4年度は手数料収入を4億6,751万8千円と見込んでいて、活用する事業の内訳は右表のとおりです。詳しくは、市ホームページでもご覧いただけます。広報ID番号 1033251

■家庭ごみ処理手数料収入(歳入)を家庭ごみの処理に充当します
4億6,751万8千円 …ごみ収集運営費の一部に充当

■手数料の歳入に相当する額は下表の事業に活用します
4億6,751万8千円 …下表の①+②+③

歳出の内訳(①+②+③)

①一般廃棄物処理施設整備基金積立		2億3,375万9千円
②家庭ごみ減量などの対策事業		1億1,246万1千円
ごみ集積所の設置や修繕などに対する町内会への補助		765万8千円
生ごみ処理機などの購入費補助、食品ロス削減の対策		596万4千円
資源化物の集団回収を行う町内会などへの奨励金		1,458万円
資源化物の祝日収集		1,776万2千円
家庭から排出される古紙回収の促進・支援		3,449万5千円
ごみ減量説明会・キャンペーンなどによる情報発信		639万3千円
ごみ集積所のパトロールや現場調査・指導		286万1千円
不法投棄防止のパトロールなどの対策		471万7千円
粗大ごみ収集オンライン申し込みシステム導入 (今年10月運用開始予定)		126万2千円
家庭ごみ処理手数料収納管理など		1,676万9千円
③その他の環境対策事業		1億2,129万8千円
地球温暖化対策事業		
住宅用太陽光発電システムなどの導入費用補助		1,771万3千円
再生可能エネルギー施設の見学体制の整備と情報発信		253万8千円
エネルギー使用状況の分析による市有施設の効率的運用		1,082万2千円
市有4施設での省エネ設備導入による光熱費削減		831万6千円
環境配慮行動を促すスマホアプリの運用		663万2千円
地球温暖化対策実行計画改定作業を実施		301万円
地球温暖化対策実行計画の推進		100万7千円
溶融施設の燃料の一部としてバイオマスチップを使用		666万8千円
中小企業などの省エネを促進する設備投資を支援		3,221万8千円
生活環境の保全に寄与する事業		
微小粒子状物質(PM2.5)の成分分析		888万1千円
水銀含有ごみの収集運搬・処分に必要な経費		2,349万3千円
一般廃棄物処理施設整備基金を取り崩して実施する事業		2億2,370万円
溶融施設の大規模改修などの実施(事業費の一部に充当)		

問い合わせ
環境都市推進課 ☎(888)5706

手数料相当額のイメージ

